

2021年12月8日

報道関係者各位

「CDP 水セキュリティ」において最高評価の「A リスト企業」に選定

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO 川村和夫）は、国際環境非営利団体である CDP*より、評価対象となった約 12,000 社の企業の中から、最高評価である「CDP 水セキュリティ A リスト企業」に選定されました。



このたびの「CDP 水セキュリティ」の「A リスト」への選定は、明治グループの水使用に関する情報開示、データに対する第三者保証の取得に加え、水使用量削減や排水の水質に関する管理徹底などの水リスクに対する取り組みが総合的に評価されたことによるものと考えています。

明治グループは 2020 年 12 月に 2050 年に向けた長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」を策定しました。本ビジョンでは、「気候変動」「水資源」「資源循環」「汚染防止」の 4 つを活動ドメインとし、それぞれに達成目標を設定しています。「水資源」ドメインにおいては、2050 年までの目標として「自社拠点での水使用量の売上高原単位を 2017 年度比で半減」や「製品原料として使用する水を 100%還元（ウォーターニュートラル）」などの目標を掲げ、取り組みを推進しています。

今後も明治グループは将来にわたって「自然との共生」を図るために、環境負荷を最小化する取り組みを積極的に進めることで持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

※CDP について

CDP は、企業や自治体を対象とした世界的な環境情報開示システムを運営する国際環境非営利団体です。CDP は、2000 年に英国に設立され、110 兆米ドルを超える資産を保有する 590 強の投資家と協働し、資本市場と企業の調達活動を介して、企業に環境情報開示、温室効果ガス排出削減、水資源保護、森林保護を他に先駆けて働きかけてきました。2021 年、世界の時価総額の 64%強に相当する 13,000 強の企業と 1,100 強の自治体を含む世界の 14,000 強の組織が、CDP を通じて環境情報を開示しています。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 IR 広報部

TEL : 03-3273-3917 メールアドレス : ir-info@meiji.com